

PDA 全国中高教員向け即興型英語ディベートワークショップ 2020

一般社団法人パーラメンタリーディベート人財育成協会(PDA)

開催日時:2020 年 3 月 21 日(土)10:30-16:00

会場:オンライン

参加者:教員 12 名(青森南高等学校、関西大倉高等学校、福井県立若狭高等学校、福井県立丹生高等学校、福井県立若狭東高等学校、福井県教育総合研究所、徳島県立城ノ内高等学校、鹿児島県立甲南高等学校)

令和 2 年 3 月 21 日(土)に、全国中高教員向けの即興型英語ディベートワークショップをオンラインで開催しました。新型コロナウイルスの影響で、オンラインビデオ会議システムを利用し各参加者は遠隔より参加しました。実践に移る前に、PDA 代表理事(大阪府立大学 工学研究科 准教授)中川智皓より、挨拶とディベートの概要が説明されました。現場における授業で導入できるよう、即興型英語ディベートは 50 分で行われます。また、各参加者の自己紹介が行われ、今回の意気込みや現在学校で行っている取り組み、今後の展望などを語っていただきました。

早速、参加者がチーム分けをされ、それぞれがディベートの準備に取り組みました。第 1 ラウンドのお題は“Closing schools to combat the COVID-19 has brought more benefits than harm.”「新型コロナウイルス対策での全校急行は、害よりも利益をもたらした。」でした。各々が日頃のテレビや新聞で得た知識を用いた議論が行われ、初回からハイレベルなディベートとなりました。

第 1 ラウンドの後は、同様にオンラインで行われている第 3 回 PDA 中学生即興型英語ディベート全国大会の生徒の実践を見学しました。「非常にレベルの高い議論だった」という意見が聞かれました。中学生のディベートを基にしたジャッジコメントの練習の後に、ジャッジレクチャーが行われました。ジャッジの基準、勝敗の決め方からジャッジコメントの仕方に至るまで、ジャッジをする上での基本事項を学びました。



第2ラウンドが始まりました。第2ラウンドのお題は“Recreating the dead in VR does more benefit than good.”「亡くなった人をバーチャルで再現することは、害よりも利益をもたらす。」でした。中学生の全国大会決勝で使われるお題を用いることで、見学の際に理解が深まることが狙いです。初回と同じチームで肯定・否定を変更した組み合わせで行いました。第1ラウンドで緊張がほぐれたのか、より落ち着いてスピーチをされる参加者が多く見られました。肯定側から遺族の悲しみを癒すという議論が挙げた一方、否定側からはバーチャルな人物への依存をもたらすという議論が挙がりました。POI を積極的に行う方の姿も見られました。

最後に、中学生全国大会の決勝を見学し、ジャッジ練習をしました。決勝の論題解説（キーノートレクチャー）を聞き、さらに知見を深めました。その後、これらの内容を踏まえたまとめが行われました。自らがディベートを体験したことで得た新しい視点を授業で用いたいという感想や、来年度からの授業にパーラメンタリーディベートを導入し活用したいという意見も聞かれました。今後の授業での活用を祈念し、閉会しました。

参加者の声

- 来年度は高校2年生への導入を考えています。その導入がうまくいったら、勤務校が中高一貫校なので、中学生から高校2年生まで一貫して実践したいです。
- 自分でディベートを体験して難しさを実感しました。特に、ジャッジで生徒のスピーチを評価するところが難しいと思いました。
- 知識不足や反論の難しさに気づくことができました。生徒にもディベートを通じて、こうしたことを体験してほしいです。
- 生徒にジャッジを担当してもらう他校の取り組みを聞いて、勤務校でも取り入れたいと思いました。
- このワークショップを通じて、勤務校での授業導入の取り組みを相対化して反省することができました。
- 普段会えない遠方からの先生方と交流できて良かったです。勤務校でディベートを導入したところ、前向きなコメントをもらうことができたので、また機会があれば私達の取り組みを共有したいです。
- オンラインでのワークショップに戸惑いもありましたが、楽しくできました。生徒に客観的なジャッジの立場でディベートを見る機会を与えることが大切だと学びました。
- 一人一人のコメントを大切にすることに感銘を受けました。
- 自分が体験してみて、躓きやすいところが分かりました。

- 即興型ディベートは導入への意欲を掻き立てられるスタイルです。現場での導入に活かしていきたいです。
- 今回学んだジャッジの仕方を活用して、生徒に指導する時に的確なアドバイスをしていきたいです。以上